

Love

PATRIC GODEAU presente
une film de marion vernoux

charlotte gainsbourg
yvan attal charles berling

based on the novel by julian barnes "talking it over"
adaptation, screenplay and dialogue marion vernoux et dodine herry
music alexandre desplat executive producer francoise galfré for ppc★
produced by patrick godeau
an alicéleo france 3cinéma le studio canal+ co-production
in association with studio images 3 cofimage 7
with the participation of canal+ le centre national de la cinématographie
and the support of procirep and the european script fund

etc.

こんな日が、
永遠に続けばいいと
思っていた…



ラブetc. ^{エトセトラ}

シャルロット・ゲンズブール主演

イヴァン・アタル シャレル・ベルリング ティボー・ド・モンタランベール エロディ・ナヴァール

監督:マリオン・ヴェルヌー 脚本:マリオン・ヴェルヌー/ドディーヌ・エリー

撮影:エリックゴティエ 編集:ジェニファー・オジェ 音楽:アレクサンドル・デズブラ 製作:パトリックゴトー

オリジナルサウンドトラック:東芝EMI 原作:ジュリアン・バーンス「ここだけの話」(白水社刊)

1996年フランス映画 / 105分 / シネマスコープ / ドルビーステレオ

提供:クロックワークス 配給:クロックワークス

KLOCK WORKS

選択のない恋愛を求めた女と、彼女を選んだ二人の男… 微妙なバランスを保ちながら続く3人の恋の行方は？

マリーは、絵の修復家。自分の欲しいものに対して積極的に出来ない25歳。アパートの階下の男とするずる不倫関係を続けている。「私は何をしているの。情性で情事を続けるなんて。私は、別れるのがヘタで、関係を長引かせる…」ある日、彼女は思い立って新聞の恋人募集欄[ラブetc.]に広告を出す。

「こんにちわ、658番さん。恋人求むの記事を見てお返事しました。僕は条件にピッタリです…」返事を寄せてきたのは銀行マンのブノワ。2人が当然のように恋人同士となり、結婚を決意するまで時間はかからなかった。しかしブノワの親友ピエールがマリーに恋してしまったことから事態は一変する。

不器用なやさしさでマリーを包もうとするブノワ、「愛している」の言葉と感情を思うままマリーにぶつけるピエール、誰にも一度も「愛している」と言わないマリー。選択のない恋愛を求めるマリーの恋は、2人の男に“選ばれる”ことから始まった――。



新聞の恋人募集欄 [ラブetc.]から始まった恋… パリの日常を舞台にリアルに描かれた恋人たちの息遣い



シャルロットをめぐる、役を交換…
絶妙のキャラクターを産み出した、
素敵なハプニング

シャルロットをめぐる2人の男。夫・ブノワはイヴァン・アタルが、夫の友人・ピエールは「リディキュール」のシャルル・ベルリングが演じている。しかし、当初予定されていたキャスティングはアタルがピエール役でベルリングがブノワ役だった。2人は、ヒロイン・マリー役にシャルロットが決定した時点で、アタルを夫役に変更しようとしたのだ。この珍しいハプニングにより、リアリティ溢れる絶妙のキャラクターが誕生した。

女性監督
マリオン・ヴェルヌーの感性…
アップテンポで駆け抜ける
リアルタイムのパリ

監督マリオン・ヴェルヌーは「誰も私を愛さない」(近日公開)で鮮烈なデビューを飾り2作品目となる本作の成功で一躍注目を浴びている30歳。それぞれの登場人物に均等に思い入れがあるといながらも、「優柔不断なところが似ている」とマリーに自分自身を投影する素顔もうかがえる。実際にパリで生活している彼女ならではの感性で、インテリアやロケーション、ふとした会話に、リアルタイムのパリを見事に切り取っている。

シャルロット・ゲンズブール、
等身大の魅力がいっぱい
主題歌「ラブetc.」も
ヒット中!

主演は故セルジュ・ゲンズブールとジェーン・バーキンの愛娘、シャルロット・ゲンズブール。「なまいきシャルロット」から11年…26歳になった彼女の等身大の魅力があふれている。共演は「愛を止めないで」で共演して以来のパートナーで現在同棲中のイヴァン・アタル。6月に愛息ベンが生まれたばかりの2人が、実生活を彷彿とさせる設定の中でどのようにカップルを演じるのか非常に興味深い。また徐々にシャルロット自身が歌う主題歌「ラブetc.」もヒット中。ミュージックシーンでも注目を集めている。

フランスで圧倒的支持を得ている
ジュリアン・バーンズの原作

本作の原作であるジュリアン・バーンズの「ここの話」はフランスで絶大な人気を誇っているベストセラー小説で、イギリス人として初めてフェミナ賞も受賞している。原題は「Talking it over」だが、フランスでは「ラブetc.」のタイトルがつけられた。登場人物3人3様の科白、心の声で構成され、話が進むにつれ登場人物が素のままになっていくスリリングなストーリー。この原作に触発されたマリオン・ヴェルヌー監督は「男女の永遠の謎」である「愛」を説き明かすために、小説の持つテイストを余すところなく映像として表現した。



2/28 [土] ~ 3/20 [金] ロードショー 但し3/13 [金]は休映

12:20/2:25/4:30/6:35

前売一般=1,400円 (当日一般=1,700円 当日学生=1,400円)

当劇場窓口で前売券をお買い上げ頂いた方に、限定でオリジナルポストカードプレゼント!!

ホワイトティ泉の広場上がる 東へ5分

扇町ミュージアムスクエア

06・361・0088